

令和3年8月10日発行

星空のよう

CONTENTS **No.70**

議会をPick-Up!	2P
一般質問	3-9P
議案の審議結果	10P
会派通信	11P
永年在職表彰	12P

(写真：十日町総合高校写真部)

議会をPick-Up!

6月定例会

令和3年第2回定例会

会期 6月18日～28日（11日間）

審議結果は、10ページに掲載

6月の定例会は、市長提出議案19件、請願1件、議会提出議案6件を審議しました。

Pick-Up 01

一般会計補正予算〔第5・6号〕

〔主な事業および内容〕

●地域公共交通利用回復事業
バスやタクシーで利用できる千円分の割引クーポン券付きチラシを全戸配布します。

●新型コロナウイルス経済対策事業（新しい生活様式リフォーム事業・住宅版）
市内事業者を利用した住宅リフォーム工事費用の一部を補助します。

●プレミアム商品券発行事業補助金
市民の消費活動を活性化させるため、20%のプレミアムがついた商品券を発行します。



●低所得子育て世帯生活支援特別給付金支給事業
ひとり親世帯を除く低所得の子育て世帯へ、子ども1人当たり5万円の給付金を支給します。



●新型コロナウイルス感染症生活困窮者自立支援金支給事業
緊急小口資金等の貸付限度額に達した世帯を対象に、自立支援金として、最高で月額10万円を3か月間支給します。

●普通財産管理事業
松代蒲生地区にある早稲田大学校外施設を市が取得し、新たな資産として活用を図ります。

●新型コロナウイルスワクチン接種の安全かつ円滑な実施に向け、接種確保に必要な費用を増額します。



早稲田大学 旧松代セミナーハウス（蒲生）

●川西有機センター条例の一部改正
家庭の生ゴミやきのこの廃菌床等を原料とした普通堆肥に、土壌改良剤を混合した混合堆肥を販売するため、利用料金を改正します。

Pick-Up 02

条例の一部改正

〔主な内容〕

●固定資産評価審査委員会条例の一部改正
固定資産の価格に関する不服審査の手続等において、納税者等の負担軽減を図るため、審査申出書等への押印を不要とします。

●奨学金等貸与条例の一部改正
奨学生の資格から学業成績の要件を削除し、奨学金返還に係る据え置き期間を選択できるように改正します。

●特別委員会の設置
議会改革に関する諸課題について検討調査を行うことを目的として、議会改革特別委員会（定数8人）を設置することに決定しました。委員の指名を行うとともに、正副委員長が選任されました。

Pick-Up 03

契約の締結

〔主な内容〕

●陸上競技場改修工事
魚沼地域唯一の日本陸上競技連盟公認第2種競技場である陸上競技場を継続して公認競技場として認定を受けるため、ルール変更に対応した改修を行います。



十日町市陸上競技場（背戸）

Pick-Up 04

人事議案

任期満了に伴う人事議案が提出され、同意しました。

〔監査委員〕

水落 雅史 氏

〔副市長〕

池田 克也 氏

〔人権擁護委員〕

根津 敬一郎 氏

Pick-Up 05

特別委員会の設置

議会改革に関する諸課題について検討調査を行うことを目的として、議会改革特別委員会（定数8人）を設置することに決定しました。委員の指名を行うとともに、正副委員長が選任されました。

委員長 富井高志
副委員長 星名大輔
委員 中林寛暁
鈴木祐一
水落静子
滝沢 繁
福崎 哲也
高橋 俊一

議員自身が
テーマを決め、
市に対して直接質問
をします!

ココが聞きたい! 一般質問

一般質問は、議員個人が問題意識を市政に投げかけ、市の見解を直接求めることができる唯一の機会です。今回は、13人が私たちの生活に関わることに
ついて質問をしました。

テーマは自由

質問する内容は、議案とは関係なく議員が自由に決め、「通告書」に書いて締切日までに提出します。

制限時間は50分

1人当たりの制限時間は、市からの答弁も含めて50分です。



質問 市長はじめ議員に聞きたい、同規模や他市に比べると議員定数が多く、大胆な削減と実績作りと思われるような発言や一般質問が散見されるが、どのように感じられるか。

答弁 5月の臨時会において、正副議長から、議会改革を進める旨の発言がありました。ぜひ議員の皆さまから十分な議論がなされ、結論を導き出していただけるものと期待しています。

質問 都市計画道路が見直されようとしている中で地域に見合った道路整備やまちづくりの開発を望むがお考えを。

答弁 都市計画の決定から27年が経過しており、当時とは状況が変化しています。市内では都市計画道路全22路線の見直しを行い、未着手で現道がない路線は、廃止を基本方針としています。今後は地域の生活道路としての役割を重視し、地域の皆さまのご要望やご意見を伺いながら、現実的な整備方法の検討が必要だと考えています。

質問 国の学習指導要領に即した教育も解るが、地域や歴史・文化など個性豊かな教育を取り上げてほしい。

答弁 十日町市教育大綱の下、ふるさと十日町市を愛し、自立して社会で生きる子どもたちの育成を旨として、コミ



議会改革及び議員定数とまちづくり・教育と学区について

小林 正夫 議員



地域の人たちと楽しい実践学習



コロナウイルス感染症対策の現状と今後の対応について

山口康司 議員



質問 補正予算で計上された経済支援、対策の詳細は。

答弁 飲食店応援事業給付金では、県の事業継続支援金交付対象者に対し1店舗当たり15万円を上乗せ支給します。オリジナル食事券発行支援事業では、飲食店が食事券を発行する際のプレミアム分と発行事務費を支援します。伝統産業支援事業では、きものメーカーと流通業者が一体となって取り組む販売会で負担する参加経費を補助します。商工団体地域活性化事業では、商工団体が実施する地域密着型事業に50万円を上限に補助します。プレミアム付商品券発行事業では、プレミアム率を20%として、1冊5千円、10万冊を発行します。二次販売で早い者勝ちで売り切れるようなやり方は見直します。タクシー運行維持事業では、市内タクシー事業者へ車両1台につき3万円を補助します。地域公共交通利用回復事業では、バスやタクシーで利用できるクーポン券付きチラシを全戸配布します。新しい生活様式リフォーム事業は、市内業者を活用して税込み20万円以上のリフォームをした場合に、補助率20%、10万円を上限に補助します。

質問 非正規社員、パート職、女性の

コロナ禍での貧困問題が全国的に拡大しているが当市の生活支援、対策は。

答弁 市民の皆さんの状況を把握した中で、活用しやすい制度を整備し、その制度について、しっかりと伝えていく必要があると思います。

質問 接種会場での混乱、トラブルは。

答弁 会場内では特に大きな混乱、トラブル等は発生していません。

質問 高齢者の接種は7月末で終わるが65歳未満の接種の予定は。

答弁 8月からの実施に向けて、7月上旬に接種券を発送し接種方法や予約方法などを周知します。



山口康司議員作成

コロナ退散

コロナ撲滅



大地の芸術祭よりも検査拡充で感染症対策を

富井春美 議員



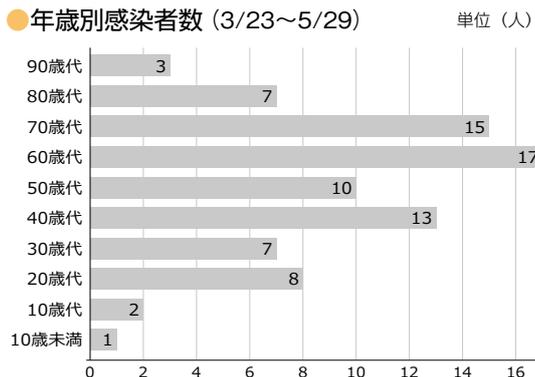
質問 変異株の感染が心配される今、県外への外出など不安に感じている人、希望する人などに「いつでも無料で」PCR検査を実施する考えはないか。

答弁 新潟県は、5月に当市と津南町の飲食店従業員などを対象とし、臨時のPCR検査所により合計で250軒、764人の検査を行いました。当市では4月、5月にかけて、連日検査を実施し、開設当初から延べ400人に対して行っています。新型コロナウイルスへの封じ込めには、ワクチン接種が最も重要であると考えており、市民全体の接種率を上げることがこの地域全体の感染を抑制し、事態の収束につながっていくと考えています。このため現在高齢者へのワクチン接種を最優先し、7月の末までに65歳以上のワクチン接種を完了し、8月以降は基礎疾患のある方や64歳以下の方への接種を実施していく予定です。

質問 大地の芸術祭では、準備段階から開催期間まで幅広い年齢の大勢の人の流れが生じ、感染拡大が起る事が予想される。大地の芸術祭は中止し、その予算を感染症対策（検査拡充、事業者・生活困窮者への支援、医療・介護、障がい者施設関係予算）に活用す

べきと考えるがいかがか。

答弁 芸術祭には多額のお金がかかりますが、経済効果も含め、この地域の評判を高めることができたイベントです。20年以上続けてきており、国、県から絶大な支援をいただき進めています。また、コロナにも国、県から支援をいただく中で芸術祭を上回るお金を投入しています。人員についても、雪まつりや芸術祭等で今年度兼務発令していた職員を今ワクチン対策に充てており、人も予算も十二分に投入準備していますので、ぜひご理解いただきたいと思っています。



新潟県の感染者発生状況データから 富井春美議員作成
*感染者の「調査中」の項目=感染経路不明者数は、83人中31人で約37%でした



新型感染症対策における十日 町市職員の勤務実態について

滝沢 貞親 議員



質問 報道によれば全国の自治体職員において、新型コロナウイルス感染症対策で残業が増え、「過労死ライン」とされる月80時間超の残業を行った職員が急増とのこと。十日町市でも特に緊急性が求められる現状から、厳しい条件での労働が推測される。次の職員および部署の勤務実態を教えてください。

① ワクチン接種等感染症対策業務を行っている市職員の勤務について
② 感染症対策業務に派遣された市職員の原籍部署職員の勤務について

答弁 ① ワクチン接種業務の準備および運営に対応するため、令和3年1月22日付で新型コロナウイルスワクチン接種対策室を設置し、5月17日からは34人体制で業務を行っています。対策室で常時勤務する職員は計24人、週2日程度の接種会場担当職員は計10人です。そのほか、集団接種会場にはほかの部署からも職員を動員し、週6日の集団接種を実施しています。これまでに月80時間を超えて時間外勤務を行った職員は4人で、すでに健康相談を行った職員もいます。この4人には労働安全衛生法に基づき、医師による面談も行います。ワクチン接種業務に従事している職員は、市民の皆さんの健康

と安全・安心の確保に向けて、各担当業務に全力で取り組んでおります。

② 当該部署におきましては、所属長を中心として、業務の見直しや昨年3月に策定した業務継続計画に基づく優先順位付けにより業務の調整を行い、月80時間を超えて時間外勤務を行った職員はおりません。国は10月から11月にかけて、希望するすべての国民へワクチン接種を完了させることを目指しています。ワクチン接種は、通常の社会生活を取り戻すための最善の策であることから、市組織の総力を挙げて業務に当たっていく所存です。



質問 一部の市民にのみ課せられている都市計画税の課税根拠を課税対象者に公開することは、公平な税制として必要です。この都市計画税が充当できる事業の範囲、目的をお聞かせ下さい。また、どのような形で市民に公開しているのか。

答弁 計画的で秩序ある市街地開発により、都市の健全な発展と市民の生活を守るため、都市計画で定められた道路、公園、下水道の整備および土地区画整理などの事業であつて、県知事の認可を受けたものに対して、都市計画税を充当することができま。都市計画税の充当事業については、これまでも市で毎年発行している市税概要や予算編成の補足資料で公開しています。

質問 都市計画税が過去の事業の償還費に全て充当されている。いつのどのような事業なのか、管理はされているのか。管理されているのであれば、市民に分かりやすく公開できるか。

答弁 本年度予算も含めた直近5年間で充当した事業として、昭和56年から平成21年に山本町地内で実施した総合公園整備事業や、昭和59年から平成13年の稲荷町から西本町地内での緑道整備事業があります。また、平成5年か



都市計画税の使い道について

中林 寛 議員



ら24年の十日町駅西土地区画整理事業、平成10年から26年の西本町土地区画整理事業のほか、昭和49年から令和4年を事業期間として、川治地区から大井田地区にかけ進めている下水道整備があります。このような費用が多額となる事業は、借入により事業費を確保しますので、どの事業の借入に対する償還費であるか、管理をしております。今後さらに市民の皆さまから幅広くご理解いただけるよう、より身近なホームページや市報を活用するとともに、表記の仕方についても工夫してまいります。

令和元年度 地方債残高の状況

会 計	平成30年度末 残高	令和元年度増減		令和元年度末 残高
		新規借入(増)	元金償還(減)	
一般会計	46,063,809	5,648,300	4,206,760	47,505,349
うち合併特例事業債	16,760,326	1,441,400	1,593,267	16,608,459
うち臨時財政対策債	13,912,031	687,700	1,051,517	13,548,214
国民健康保険診療所特別会計	338	0	338	0
特別会計	5,477,034	147,400	393,937	5,230,497
簡易水道事業特別会計	17,219,760	971,400	1,796,064	16,395,096
下水道事業特別会計	79,200	13,600	0	92,800
松之山温泉配湯事業特別会計	22,776,332	1,132,400	2,190,339	21,718,393
小計	2,803,664	104,700	88,267	2,820,097
水道事業会計	71,643,805	6,885,400	6,485,366	72,043,839
合 計				

(仮) 都市計画税充当事業債は？

会 計	平成30年度末 残高	令和元年度増減		令和元年度末 残高
		新規借入(増)	元金償還(減)	
一般財源	?	?	630,296	?
うち都市計画税充当	?	?	127,691	?
都市公園整備事業債	?	?	2,462	?
都市計画事業債	?	?	1,196	?
区画整理事業債	?	?	39,089	?
公共下水道債	?	?	84,944	?

過去の事業はどんな事業？ 昔の事業の償還に充ててるだけ？ 中林寛議員作成
新規事業は行ってないの？ あとどのくらい償還しなればいけないの？



市職員の働き方改革について

星名 大輔 議員



質問 市内事業所は、年5日の年次有給休暇、時間外労働の上限規制、同一労働同一賃金など働き方改革に取り組んでいる。市職員の働き方改革について市長の見解を伺う。

答弁 有給休暇の取得促進に向けた取り組みでは、職員の仕事と家庭生活の両立や女性の活躍を推進するため、第2次特定事業主行動計画の後期計画を策定し、全職員が5日以上の取得、かつ平均取得日数10日以上を目標に掲げ、取得促進に取り組んでいます。会計年度任用職員については、制度改正があり、令和2年度から時間給の見直しや期末手当の支給による年間給与の大幅な増額が図られ、さらに夏季休暇などの有給休暇制度の拡充等により待遇改善を図っています。時間外勤務では、業務のアウトソーシングによる職員の業務量の縮減や、業務の平準化により、平成27年度で15.1時間の平均時間外勤務時間が、令和元年度で10.4時間と、約50時間の縮減につながっており、今後も、毎週水曜日ノー残業デーや金曜日の節電定時退庁日の徹底などで、引き続き残業の管理、適正化に取り組みます。職員の指導育成については、求められる職員像を共有し、ある

べき職員の姿に近づくための意識、能力、行動をまとめた人材育成方針に基づき行っています。今後も職員の能力開発や指導育成並びに組織の士気高揚につながる制度運用を目指していきたいと考えています。事務室の改善では、防災庁舎の建設や庁舎改修により、会議室や事務室の増設、窓口レイアウトの改善など、執務室や職員の休憩スペースの拡充を行っています。また、今年度からは庁舎内でも会議のオンライン化を進めることで、支所などの出先から本庁舎への往復時間を短縮するなどの業務改善にも取り組んでいます。



市役所も働き方改革が必要だ



買い物弱者対策について
通学路の安全対策について

根津 年夫 議員

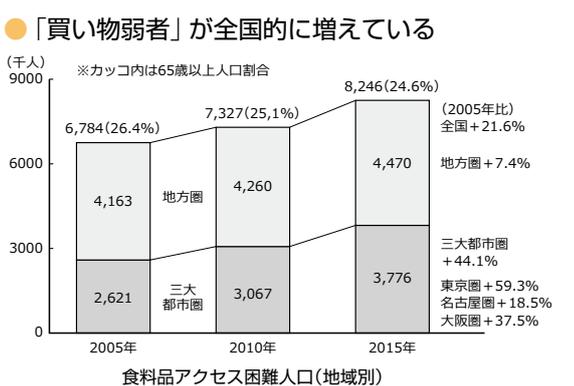


質問 買い物弱者は十日町市においても顕在化しつつある大きな問題です。買い物弱者への①現在の取り組み②現状把握のためのアンケートの実施③今後の対策と支援策について伺います。

答弁 ①市営バスや予約型乗合タクシーの運行、高齢者や障がい者へのタクシー券の交付、移動販売車の購入費補助を行っています。②買い物弱者に限定した実態把握調査は行っていませんが、総合計画に関する市民アンケート調査結果を踏まえ、生活交通の維持、確保に努めています。③引き続き市営バスや予約型乗合タクシーを運行します。また、浦田地区で行われている高齢者の買い物支援の取り組みをモデルケースとして、他地域への導入を検討し、移動販売に意欲のある事業者や買物支援の実施団体へ支援を行います。

質問 毎日登下校する通学路の安全については事故が起きる前に対策を講ずる必要があります。①通学路における合同点検の結果・対応②地域の見守り活動の現状と課題③不審者情報の発信と情報共有④降雪時の歩道と交差点の除雪管理について伺います。

答弁 ①昨年度各学校から要望のあった21の危険箇所中、9カ所で対策を完了



※「買い物弱者」とは、店舗まで500メートルかつ自動車利用が困難な65歳以上の高齢者

質問 押印廃止など本格的なデジタル化時代を迎えています。住民サービスの向上、行政の効率化のため、マイナンバーカードの活用について伺います。

答弁 行政手続における押印廃止とデジタル化については、今年度末を目標に押印の見直しを進めるとともに、これに対応したデジタル化の推進に取り組みます。マイナンバーカードについては、現在コンビニでの証明書交付や身分証明書として金融機関などで活用されています。また、今年度中には保険証として利用できる制度が本格運用となる見込みです。国はマイナンバーカードでオンライン申請ができるマイナポータルを活用を推進しており、順次、市でもマイナポータルによるオンライン申請の取り組みを進めます。マイナンバーカードによるデジタル認証は、本人確認として有効な手段であり、押印廃止を進める上でも大きな役割を果たすことから、市独自の手続きにも、マイナポータルによるオンライン申請を導入していきたいと考えています。

質問 ドライブレコーダーは「動く防犯カメラ」です。悪質なあおり運転で重大事故が起こるなど社会問題化しています。犯罪の抑止効果や安全運転意



マイナンバーカードの活用！
ドライブレコーダー購入助成

宮沢 幸子 議員



ドライブレコーダーは真実を語る目撃者です

識の向上、安心安全なまちづくりをドライバーの皆さんと共有するために搭載に購入助成できないか伺います。

答弁 市民の安全、安心を守るための機器であることから、他の自治体の取り組みを確認しながら設置促進に向けた支援方法を研究したいと考えています。

今後も、十日町警察署や十日町地区交通安全協会などと連携しながら、あおり運転の抑止に加え、地域の見守り効果が期待されるドライブレコーダーの設置促進のPR活動や、交通事故防止のための啓発運動を強化してまいります。

質問 コロナ禍でコメをめぐる価格暴落が進み、今年度は生産原価を下回る可能性が大きい。もう作付けが始まっているが基幹産業の十日町農業、ブランド米産地をどのように支援するか。

答弁 市の基幹産業である農業は、昨今の異常気象や新型コロナウイルスによる社会的要因などに対応できる足腰の強い持続可能な構造への変革が必要です。そのため県が進める園芸振興基本戦略に同調した園芸の1億円増産プロジェクトを推進するとともに、スマート農業の普及による作業の省力化や生産コストの削減、安全性向上などに、農業者をはじめ県やJA十日町など関係者の皆さまと共に取り組む所存です。

質問 学区再編をなぜ急ぐのか。地域が納得しなければできないと言ったが、議論が尽くされていない。進め方にも問題がある。地域あつての学校、学校あつての地域、子どもたちにとって再編がベストなのか白紙に戻し検討すべき。

答弁 地域や子育て世代などでさまざまな意見があることは十分承知していますが、議論を深め一部実行していくことも必要です。教育委員会としては、適正な過程を経て提案をしています。



今日的農業情勢と市が取り組む課題
学区再編について

滝沢 繁 議員



令和3年度長野県内市町の収入保険への補助(抜粋)

市町村	補助対象	補助内容
須坂市	新規、継続	保険料の80%
中野市	新規、継続	保険料の20%
山ノ内町	新規、継続	保険料の30%
千曲市	新規、継続	保険料の50%
松本市	新規	保険料、付加保険の80%
	継続	保険料、付加保険の30%
塩尻市	新規、継続	保険料の50%
茅野市	新規、継続	付加保険料の100%
伊那市	新規	保険料の50%

※令和2年度に新潟県が行った収入保険の助成内容
…新規加入者の保険料を対象に上限2万円を助成

滝沢繁議員作成



利用者が減少している地域公共交通タクシー事業者支援

大嶋由紀子 議員



質問 ① タクシー事業者への支援について伺います。② 介護タクシー、福祉タクシーの現状および利用者側、事業者側の立場に立った課題等について伺います。③ 健康な高齢者を増やすという目標がある中で、高齢者外出支援サービス事業の改善策は考えられないでしょうか。④ 現場の声を聴く機会を改めて作っていただきたい。

答弁 ① 市内タクシー事業者に対し、感染症対策経費などを対象に車両一台につき3万円を補助するタクシー運行維持事業を行います。また、タクシーやバスの利用回復のため、千円分のクーポン券付きチラシを全戸配布し、利用分の料金を市が補填する地域公共交通利用回復事業を行い、日常生活を支える地域公共交通の維持を図ります。

② 介護・福祉タクシーを運行している事業者は市内に3社あり、介護タクシーは介護保険の対象となる一方、福祉タクシーは対象外となります。利用者側の課題では、通院での利用が多く、希望する時間が重なり利用できない場合があること、事業者側の課題では、利用状況に変動があるため、利用者のニーズに合った専用車両の確保が困難になってきていると伺っています。

令和2年度交通費助成(タクシー券)利用実績

高齢者 外出支援 サービス	対象者	タクシー券
	要介護3以上の 特養未入所者 910人	8,400円 (700円×12枚)
	交付	利用実績
	317人 2,662,800円	950,450円 (交付額の35.7%)

利用実績が低いため、改善が必要 大嶋由紀子議員作成

なお、市では高齢者と障がい者のうち、希望する方にはタクシー券を交付しており、高齢者では35.7%、障がい者では57.7%の使用率になっています。③ 継続的に日常生活等に制限を受けている方への支援にしっかりと取り組んでいきたいと考えており、高齢者外出支援サービス事業の対象者拡大は、現在のところ考えておりません。④ 今までもケアマネジャーなどから個別に話を聞く機会がありましたが、統一した形での実態把握に努めていきたいと思っています。



新型コロナウイルス感染症に対する支援策について

鈴木祐一 議員



質問 消費低迷の期間も長くなり、飲食業者の厳しい経営状況は依然続いています。事業を維持していくには、さらなる継続支援が必要と考えます。また、飲食を取り巻く納入業者等に対しても支援策が必要と考えますが対応を伺います。

答弁 今年度は5月から飲食店への応援給付金とオリジナル商品券のプレミアム分を助成する緊急的支援を行ってきました。今後は、地域の経済活動を活性化させていくためにプレミアム商品券発行事業を実施し、飲食店をはじめ、小売業、サービス業への継続的な支援にも取り組むたいと考えています。また県では、飲食店における認証制度を開始していますし、飲食関連事業者に対しても、事業継続に向けた支援金の支給を行っています。市としても今後必要に応じて飲食関連事業者への支援を検討していきたいと思っています。

質問 ワクチン接種という明かりが見えていますが、感染が拡大し、消費が一気に低迷した場合、感染防止のお願いと同時に支援を行う考えはないか伺います。

答弁 飲食店のみならず旅館、ホテルなど、いろんなところの影響がどうな

十日町市ワクチン接種状況一覧表

区分	高齢者 接種回数	高齢者接種率
1回目接種	18,240	90.9%
2回目接種	15,378	76.6%
合計	33,618	

令和3年7月25日現在

最新の情報は、市のホームページで確認できます。

質問 畑という場所は、誰がいつ行ってもできる役割、仕事があります。土に触ると癒されるメカニズムが解明されてきました。市として新しい農業の形、新しい多世代交流の場として市民農園に取り組む意欲はありますか。

答弁 市民農園には、未利用農地の有効活用や農業体験、生き物に触れることでの教育的効果、食育、農山村の魅力発信など、幅広い効果が期待できます。また、設置と運営は、農業者や農業協同組合、市民団体、市町村など多様な主体によって取り組むことができます。市では、学校給食の地産地消促進のための地域の取り組みに対し、野菜生産に必要な種苗費などへの補助を行っています。また、農業者と福祉施設の連携窓口が創設されるなど、農福連携という新たな取り組みも始まっています。市民農園はさまざまな分野への裾野の広がり期待されるため、市としても支援をしていきたいと考えています。市民農園を整備する際には、農山漁村振興交付金など、国の交付金制度も用意されていますので、まずは市民農園の開園を希望する皆さんとの意見交換を行いたいと考えています。

質問 JA十日町グループと包括的連



JA十日町ナカラネ畑で多世代交流（植付け作業）

携協定が締結されましたが、具体的にどのような活動が行われていますか。

答弁 協定事項には、農業振興・地産地消の推進、まちづくりの連携、地域の活性化および市民サービスの向上など5つの項目が盛り込まれています。JA十日町から創設いただいた1億円の園芸振興基金を活用した園芸生産の拡大に対する補助や、大雪による被災ハウス再建への支援、主食用米から輸出・加工用米への転換の推進、市内小中学校開設の畑への肥料の寄附や技術指導など、幅広い分野での連携と協力が進められています。



市民農園による地域活性化について

嶋村真友子 議員



質問 今冬の豪雪による家屋、空き家の被害、倒壊数をお聞きます。

答弁 今冬は12月中旬から短期間かつ集中的な降雪に見舞われ、1月10日から31日まで市内全域に災害救助法が適用されました。家屋25棟に一部損壊が発生し、空き家では全壊16棟、半壊3棟、一部損壊25棟です。

質問 令和2年11月策定の十日町市空家等対策計画についてお聞きます。

答弁 空き家の実態調査結果を踏まえ策定したもので、これにより今後の空家対策の方針を市民にお示しするとともに、やむを得ない場合の解体等代執行の際に、国庫補助事業の活用が可能になりました。

質問 今年度の空き家の適切な管理に関する取り組みや広報はどう進めているのかお聞きます。

答弁 危険性の高い191戸全て写真を撮ってランク分けしました。特に危険と思われるところには配達証明付きの文書を送り、連絡をいただいています。

市民への周知について、管理の責任は所有者にあることや、特に倒壊等が起りやすい降雪時、梅雨前に管理の徹底を行うよう、市報やあんしんメー



農家民泊に活用している空き家（願入）



今冬の豪雪による空き家の被害、今後の方針を問う

水落 静子 議員



質問 今冬、高齡化・過疎化が加速していきます。空き家となる前に福祉課等とも連携して対策する考えがないかお聞きます。

答弁 優良な資源として空き家を探されている方もいるため、空き家の取り扱いは所有権者のご希望をしっかりと把握した中で、福祉関係部局等と情報共有を図りながら、早く動ける体制づくりをする必要があると思います。

会派通信

かいは つうしん



4月の改選により、新たに結成された全5会派を紹介いたします。
※当市議会では、会派制を採用しており、会派を中心として議会運営を行っています。

かがやき

私たちは「みんなが輝く十日町をつくる」をスローガンに掲げ、政治活動を進めてまいります。

7月上旬に会派で市内の視察を行いました。「すべての答えは、現場にある」と言われます。当会派では、市民の声を徹底的に聴き、現場に足を運び、しっかりと内容を把握することを大切にします。そして、地域や世代、性別の違う多様な人材の揃う会派のメンバーで十分な討議を行い、市政に反映させ、市民の皆さまの幸せに繋がる活動を行ってまいります。

- 会派長 村山達也
富井高志
水落静子
中林寛暁
山家悠平
遠田延雄

伸暢(しんちょう)

あまり読みきれない名前ですが、「長さや力を伸ばすこと、広げること」という意味です。経験を積んだつもりで4期と3期の2人が、市民のために早くも動き始めた1期の2人に急かされながら、十日町市の過去・現在を見つめ、より良い将来に向かうため、市議会の一つの要としての会派をスタートしました。新型コロナウイルスという百年に一度の感染症対応が喫緊の課題ですが、「伸暢」の名にふさわしく、ポストコロナの当市がより良く広がるために頑張ります。

- 会派長 高橋俊一
鈴木祐一
関口立之
吉村重敏

令和の風

新しい元号「令和」を会派名としました。市民の皆さまの負託に応えた議会活動をするため研鑽してまいります。これからの議会は、人口減少、高齢化社会等に向け、難しい運営をしていかななくてはなりません。このようなか、しっかりとした政策を考え実行できる会派を目指し、全力で取り組んでまいります。また、各種勉強会や調査研究活動を行う中で、議員としての政策立案能力の向上に努め、謙虚で誠実に、より良い市政発展に向けて努力をしてまいります。

- 会派長 根津年夫
山口康司
星名大輔

日本共産党 十日町市議団

選挙で掲げた公約実現に努め、どこに住んでも安心して住み続けられる「まち」づくりを基本に活動を進めます。

- 一、PCR検査とワクチン接種をセットで進め、コロナ感染の不安解消
 - 二、安心して医療が受けられる体制整備と維持
 - 三、深刻さを増す中山間地農業を守り、持続する地域経済の振興
 - 四、除雪支援や国保税、介護保険料の引き下げで経済的負担軽減
- 憲法を守り柏崎刈羽原発の再稼働を許さない活動にも力を尽くします。

- 会派長 鈴木和雄
滝沢繁
富井春美

新成会(しんせいかい)

新成会は3人でありますが、さまざまな立場の人たちが参画することで、より良い会派活動が可能だと思っております。物事を一辺倒に見るだけでなく、さまざまな角度から批判や評価を加えることによって、幅広い視野で物事を判断することができます。これを政治に置き換えれば、よりフレキシブルな政策が構築できるのではないのでしょうか。

しっかりと市民の皆さまの思いが伝わる活動をしていきます。

- 会派長 福崎哲也
宮沢幸子
小嶋武夫

会派に所属していない議員

- 鈴木一郎 議員
小林正夫 議員
大嶋由紀子 議員
滝沢貞親 議員
嶋村真友子 議員

※鈴木一郎議員は議長職のため、中立公平の立場から、所属会派から離脱します。

会派とは、議会内で活動を共にしようとする議員のグループです。当市議会では、3名以上の構成員でグループを結成し、届出をすることで会派として認められます。



永年在職表彰

去る4月20日に書面で開催された第96回北信越市議会議長会定期総会、および5月26日に書面で開催された第97回全国市議会議長会定期総会において、永年在職表彰を受けました。
なお、小林議員は議長会の表彰規定により、町村会議員の在職期間が換算されています。



- ◎正副議長8年以上
鈴木 一郎 議員
- ◎在職25年以上
庭野 政義 議員
- ◎在職15年以上
小林 正夫 議員

表紙写真について

今月号の表紙は十日町総合高校写真部の作品です。

十日町総合高校写真部



十日町総合高校写真部は、現在3年生1人、2年生8人、1年生7人で活動しています。去年はあまり大会に出せなかったのですが、今年は多くの大会に作品を出して、多く受賞、入賞が取れるよう努力していきたいと思います。

所管事務研修会を行いました

今市議会選挙において誕生した初当選議員を対象に、5月19、20日の2日間にわたり、所管事務研修会を開催しました。
それぞれの部や課などの所管別に、事務概要および令和3年度の主要事業等について説明を受けました。



あとがき

春爛漫の陽射しに包まれるころ、私たちは市議会議員の一員に加えていただきました。あれから3カ月余りの日々が過ぎ、早いもので盛夏を迎えました。この間、私たち新人(二期)議員は初めての活動を数多く体験させていただいております。議会だより編集の役割もそのひとつ。私たちにとっては期待と緊張で胸を震わせた議会ですが、その熱気を限られた紙面でお伝えするよう努めてまいります。今期からも引き続きお願いすることになった市内の高校生による心温まる表紙写真と共にどうぞご期待ください！
(関口立之)

発行：新潟県十日町市議会
編集：議会だより編集委員会
〒948-8501
十日町市千歳町3丁目3番地
TEL 025-757-3119
FAX 025-757-5999
E-mail: t-gikai@city.tokamachi.lg.jp